

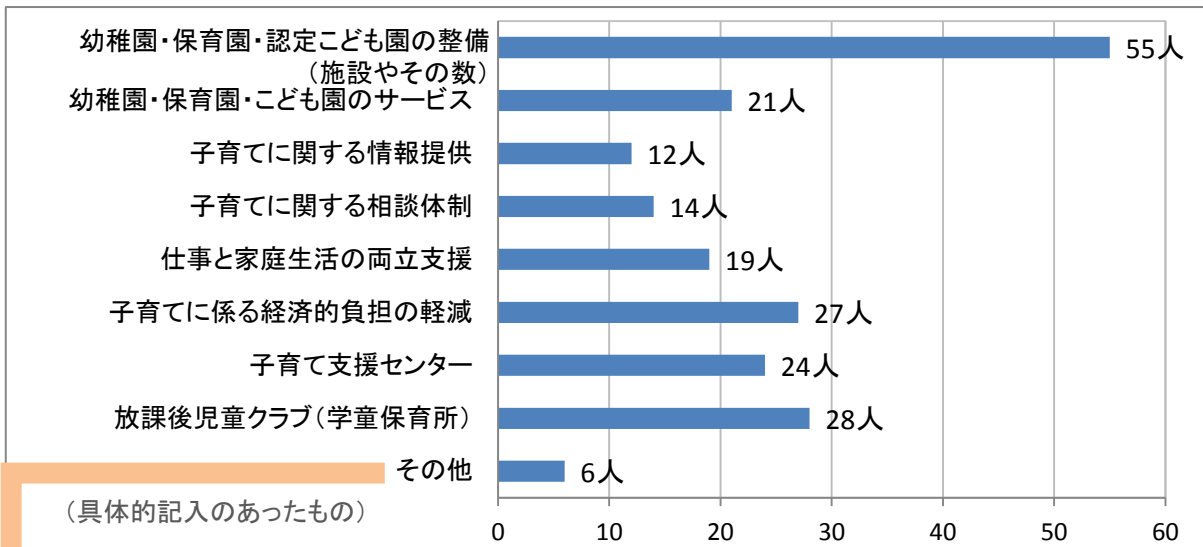
平成27年度 保育園等の子育て環境に関するアンケート集計結果

保育園等の子育て環境に関するアンケート

○アンケート期間:平成28年1月15日～平成28年2月1日

○アンケート回答者数:83人

Q 1 高島市の子育て環境や支援への満足度について高いと感じるものは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)



1	学童保育所は年々充実していると感じる。
2	独身なので実際に子育てしてみないとわからない。うわさでしか情報が入ってこない。
3	保育料が他の市や県に比べて安い。待機児童がいない。
4	わからない。

子育て支援センター



市内に6カ所あり、未就園児とその保護者を対象に子育てに関する相談や、子育て支援活動、サークル活動などを行っています。

放課後児童クラブ(学童保育所)

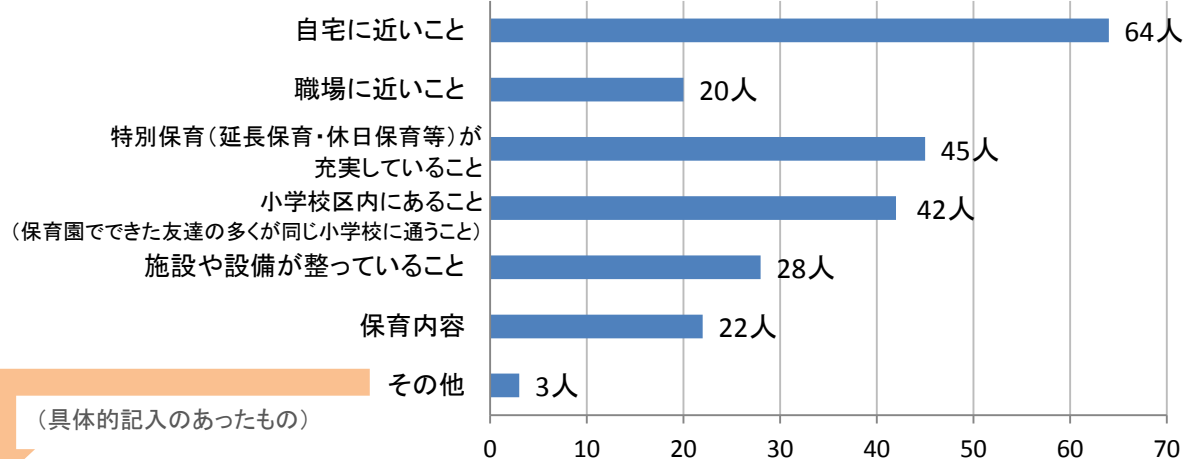


共働き家庭やひとり親家庭の子どものために、放課後や夏休みなどの長期休暇中に集団活動の場を提供しています。現在、市内に10カ所開設されています(H28年度には12カ所となる予定)。



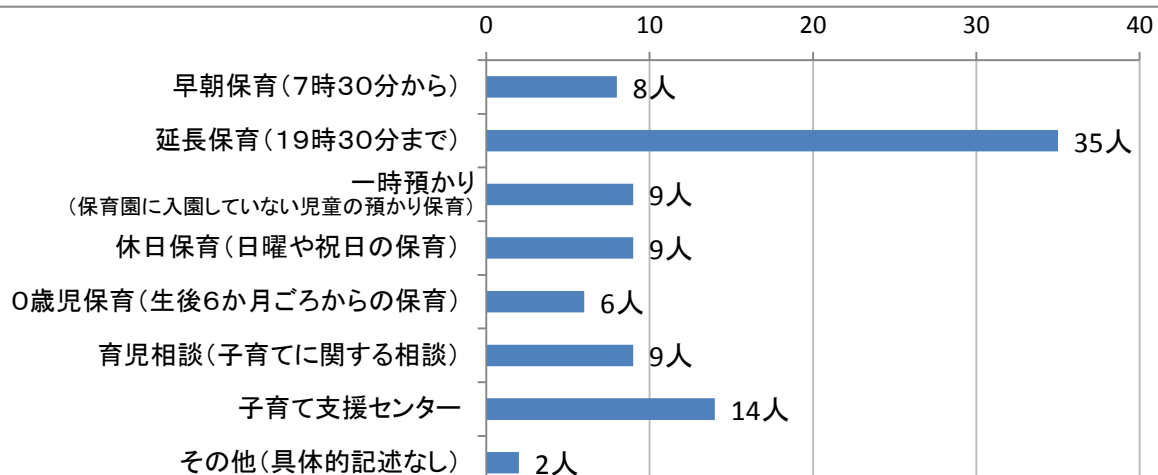
○第2子の保育料を半額・第3子の保育料を無料に○
高島市では、安心して子育てができる環境づくりのため、平成28年度から、世帯の所得や、第1子の子どもの年齢に関係なく、第2子の保育料を半額に、第3子の保育料を無料にする予定です。

Q2 あなたがお子さんを保育園等の施設に入園させるとしたら、何に重点をおきますか。

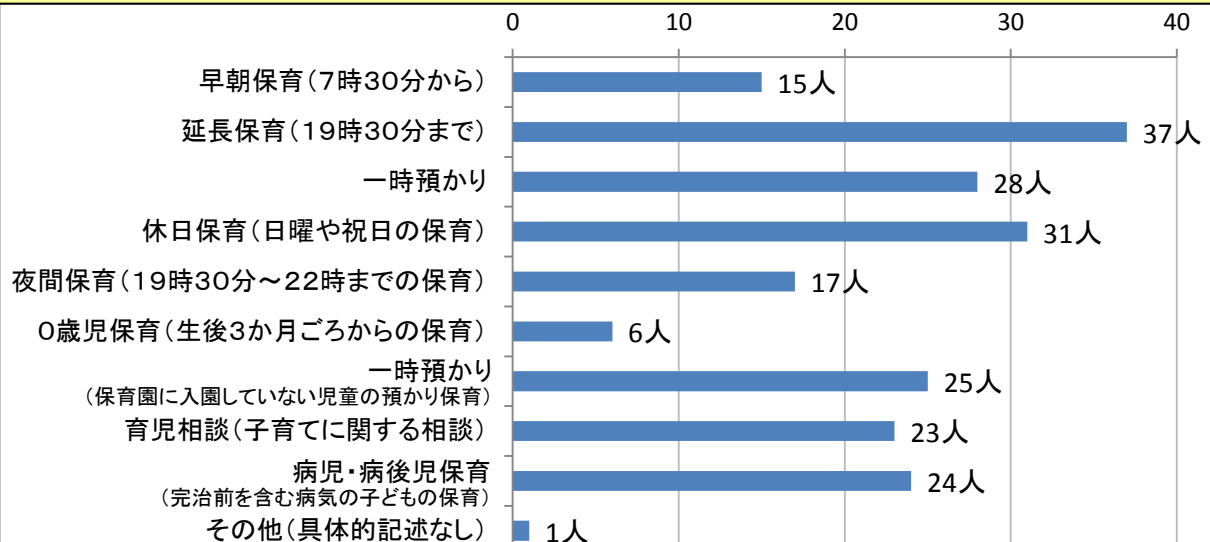


- | | |
|---|----------------|
| 1 | 保育士 |
| 2 | 祖父、祖母の送迎しやすい場所 |
| 3 | 保育料 |

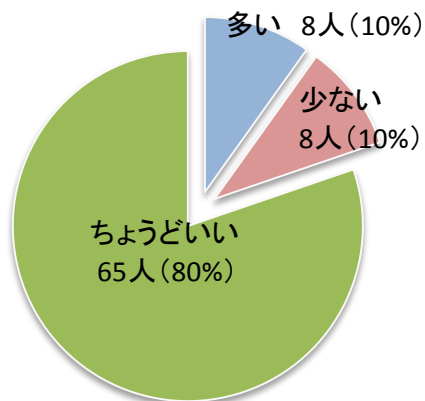
Q3 よく利用している(利用していた、あるいは自分ならばよく利用するだろうと思う)保育サービスは何ですか。(最もあてはまるもの、1つだけ○)



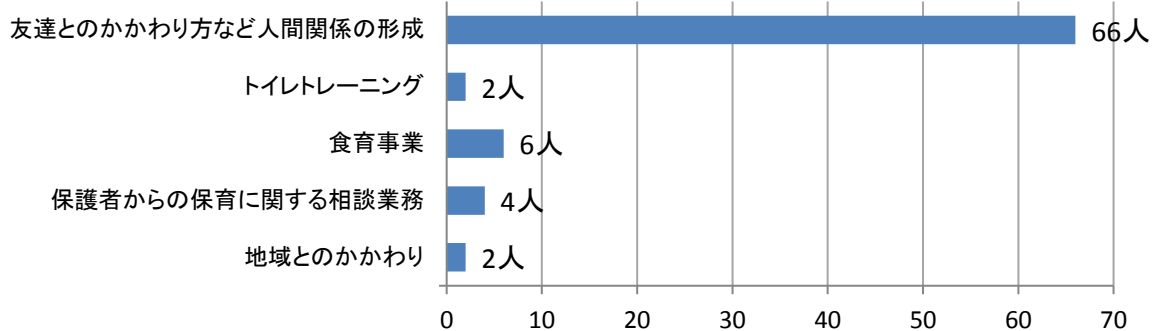
Q4 今後、保育園等で充実したらよいと思う保育サービスは何ですか。(3つまで○)



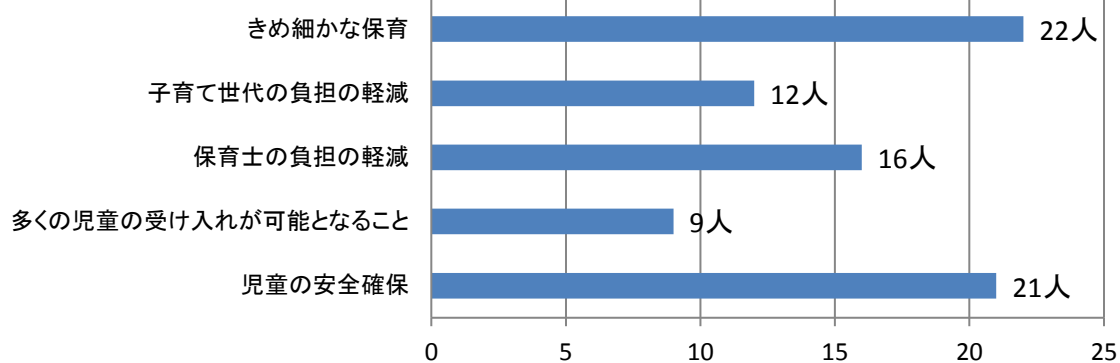
Q 5 市の保育園等の施設の数についてどう思われますか。



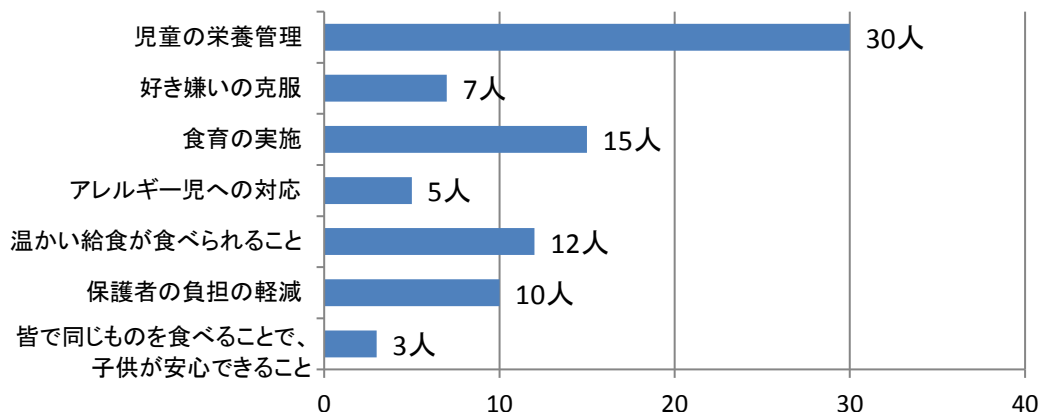
Q 6 保育園等に期待することは何ですか。（最もあてはまるもの、1つだけ○）



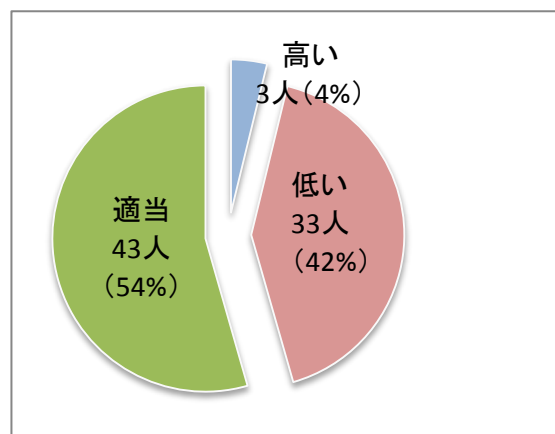
Q 7 保育士を十分に配置することで得られる効果のうち、あなたが最も重要だと思うものは



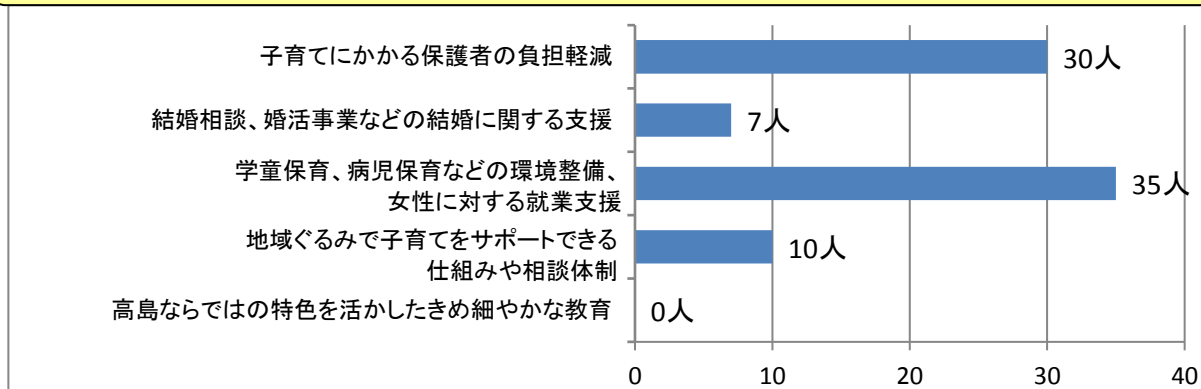
Q 8 保育園等に栄養士や調理師を配置し、給食を実施することで得られる効果のうち、あなたが最も重要だと思うものはなんですか。（1つだけ○）



Q 9 市では、保育士等を十分に配置するために、正規の保育士に加えて、契約期間に定め等のある嘱託保育士を配置しています。嘱託保育士の報酬月額、経験5年未満が168,100円、5年以上は175,000円ですが、どうお考えですか。



Q 10 高島市で子育てをしたいという希望を増やすために必要なことは何だと思われますか。

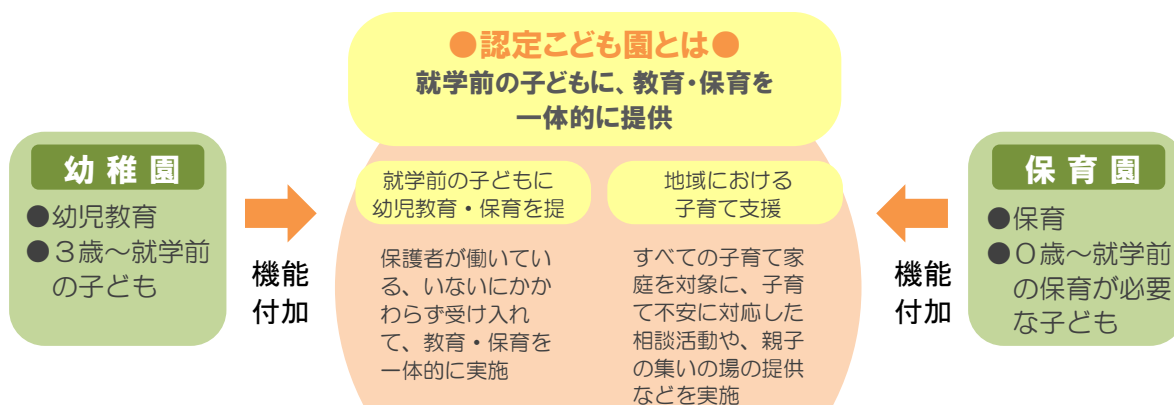


Q 11 市の保育行政に関するご意見や、今後の子育て支援への希望など、自由にご記入ください。

ご意見等
高島市の子育て環境について
子育てする環境的には、自然があり、四季を感じられ、大変すばらしい所だと思っています。
新しい保育園もあちらこちらで新設されており結構充実されているように感じます。
高島市の待機児童0、保育料50%(国の基準の)、給食費無料などは都会に比べて恵まれていると思います。
保育園、幼稚園は充実していると思いますが、小学校に上がるととても大変になります。小学校の児童も安心して育てられる高島市にしてほしいです。
充実していると思います。働く女性が子育てしながら少しでも楽にできればいいし、仕事場が多く働く所があればいいと思う。若い人に高島市に1人でも多く住んでもらいたい。
少子化対策が市の未来に非常に重要ではないかと思っています。若年層の人口減少を抑止するため、子育て支援と並行し、企業誘致等働く場の拡充を図っていく事が大切かと思っています。
子供がほしい！！と思えるようにするには負担軽減だけでなく、収入の増加が必要だと思います。そのため、女性が子育てしながら働ける環境づくりが大切かと思っています。
市全体の人口が減っていることもあり、本音を言えば入所できない位人口が増えてほしいものです。
私たちが若かった頃は働きながら子どもを育てるのに非常に苦労し、(県外で)保育所増設運動などしたのに比べ、今のお母さん達は恵まれていると思います。

ご意見等
保育園等の運営・施設等全般について
利用料を低額にしてほしい。
1つの幼稚園、保育園、認定こども園にいる園児の数が100人を超えているところは少し多いと思う。
旧安曇川町等の場合、公立私立保育園の数が多く、市の負担軽減のためにも統合してはどうかと思います。
少子化という割に、施設数が多く感じます。
今ある施設の稼働率や意見を参考にして、名目だけの施設ではなく、利用しやすい施設に作りかえてほしい。
あまりに大きな施設や数が多くなり、そして給食も無料化となる中、小さい私立の幼稚園は給食の設備もなく、大変困っています。
アレルギーの子どもが増加しているので、アレルギー除去食を皆に提供している所があるとの事。皆が同じものを食べられることで、色々な面で安心できるので良い事だと思う。
子どもが通園していますが、仕事している間も安心して預けられる場だと感じています。アレルギー対応もしてくださり感謝です。
もっと保育園などの施設を(小学生とか)子ども達にも使えるようにするのもよいのではないかと(児童館と同じくらいの状態で)
もともと食育のため給食は取り入れられなかったのですが、このままヴォーリズが造られた歴史ある幼稚園がなくなるのは市にとってもマイナスかと思われます。
存続が難しいようであれば子育て支援センター等に活用していただきたく思います。
保育士等について
保育士さんにはゆとりを持って子どもたちに接していただけたらと思います。
保育士さんにやりがいの感じられる待遇を希望します。
保育士さんは専門性の高いお仕事だと思います。また、保護者からの期待も大きく、課せられる責任も大きいと感じますが、それに対しての報酬は充分とは思えません。
嘱託とはいえ、各家庭の大事な子どもを預かる有資格の専門職ですから、もう少し報酬が上がったり、働き方の形態が選べたら保育士の確保もよりしやすくなるのではないのでしょうか。
保育士の増員により他の目線から子どもの様子を見ていただけるという事もあり、小さな子供の心を違う方向からサポートしていただけるのでは？と思います。
親や子供が仲間外れになっている場合、また、見かけた場合、できるだけとりもって頂きたいです。(配慮をお願いしたいです。)
保護者支援について
仕事をしたい気持ちは強いが、子供が低年齢児で待機児童だったり、もし、保育園などに通わせるようになった場合でも子どもが病気をしたりすると仕事を度々休まなくては・・と思うと、なかなか行動に移せずにいます。
働くお母さんが利用しやすい施設を作らないと女性の社会進出はパートどまりになってしまいます。
年度途中で育休が明けた人が職場復帰しやすくなるようにすべきではないでしょうか。
子育て中の女性と子育てを経験済みの女性との交流会のような機会が定期的にあれば良いと思います。
母子家庭の支援、環境を十分にしてほしい。
ひとり親世帯が増えている中で、そういった世帯が子育てしやすい環境づくりや補助があればいいと思う。(例えばインフルエンザワクチンの学校での全体接種など・・・)

ご意見等
早朝・延長・病児保育等のサービスについて
早朝保育、延長保育、休日保育の充実に力を入れてもらえしたいと思います。しかし、保育士の時間外の労働でもあるため、保育士の増員を望みます。保育料はあまりかからないようお願いします。
両親とも働いている世帯には、延長保育、夜間保育の検討も必要ではないかと思います。
高島市民病院での病児保育が利用しにくい。
病児保育もありますが、利用しづらいです。
病児保育は、年齢制限を設けるのではなく、どの年齢でもいようにした方が良いのではないか。
学童保育について
学童保育所への行き帰りに子ども達だけが歩いているのを見かけましたが、夕方の交通量が多い時間だったので危険だなと感じました。送迎についてはどのようになされるのでしょうか。
学童保育について新旭町の場合、小学校から遠く離れた場所2か所で行われています。学校の空き教室を利用した場合、移動もなく広々とした運動場も使えて子どもたちにとっては健全な学童保育ができると思います。
小学校を放課後学童に開放していただけたらと思います。
その他
3歳までの子どもは、保護者が保育することを希望します。その為に子育て負担を軽減してはどうでしょうか？子どものためにも、また、保育士さんの負担も軽くなると思いますが。
大津市特養松の浦湯治の郷にある職員さんのための保育ルームはガラス張りで子どもの姿が見えて安心して働ける環境のように思いました。介護職場に保育ルームがあることで、若い子育て世代の介護職種の方々が来られると良いなと思います。
保育園入園によりたくさんの小さな子供のイベントが市でも行われていたんだということを知りました。母子手帳を申請した際から情報が入ってくれば良いと感じました。
働き方の多様性、また非正規労働者は今後も増加し、世帯収入は横ばい、あるいは下るなら子育てより先にまず自分が生活するのに精いっぱいになりかねない。正規労働者であってもこれは変わらないと思うので、行政がいかにか手をさしのべるか気になる。育児放棄したくてするのではなく、育児する余裕がない社会になっているのも問題ではないか。高齢者により労働力が不足し、介護と育児で人手の取り合いになるのではないかという気もする。労働力の適正配分をどこに見るか悩みどころである。核家族、非正規、地域分断、家庭への引きこもり、孤立化等、きっかけは様々ですが、どこか他人事のように子育てを見ている親たちも問題かもしれません。
認定こども園では幼稚園児と保育園児とを分けて教えて(保育)おられるのでしょうか。同じにしておられるのでしょうか。幼稚園機能と保育園機能を併せ持つ保育園では、幼稚園の教育の部分が保育士さんに負担になっているのではないのでしょうか。またその逆もあるのでしょうか。



- 幼稚園と保育園の両機能を併せ持つ「**幼保連携型**」の認定こども園では、幼稚園教諭と保育士資格を併有する「保育教諭」が配置されます。
- 幼稚園に保育所的な機能が供えられた「**幼稚園型**」、保育所に幼稚園的な機能が供えられた「**保育所型**」の認定こども園では、満3歳以上の園児については、幼稚園教諭と保育士資格を併有した職員の配置が望ましいとされ、満3歳未満の園児には保育士が配置されます。